



マイコプラズマ肺炎という言葉を目にしますが、どのような肺炎ですか？



新春から中国で流行していたマイコプラズマ肺炎

。日本での流行が心配されていますが、案の定、夏以降に流行の兆しが見えます。一時期オリンピックの年にはやる

ことからオリンピック病といわれましたが、一概にはいえないようです。ただ、今回はコロナ禍で流行する機会がなく集団免疫の低下を招き、偶然にもオリンピックの今年、流行の心配があります。原因はマイコプラズマという普通の細菌より小さめの細菌で、特徴的な症状は痰（たん）を伴わない乾いたせきです。



中には激しいせきが続き、最後は痰も出る場合がありますが、多くは風邪だと思い、飛沫（ひまつ）や接触感染からうつることから、

「歩く肺炎」と呼ばれているので、マスクを着用するせきエチケットや手洗いは大事です。また治療薬はありますが、重症化することもあります。これから冬にかけ、疑わしきは早めに検査し治療を受けましょう。汗をかく暑さが続きそうですし、汗腺（感染）も休みないですね。



朝倉病院
理事長／院長
田辺 裕久さん